

泌尿器科学

1 構 成 員

	平成 24 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
助教（うち病院籍）	4 人	(2 人)
助手（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	1 人	
医員	3 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	1 人	(0 人)
研究生	2 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	6 人	
合計	22 人	

2 教員の異動状況

- 大園誠一郎（教授）（H15. 4. 16～現職）
 麦谷 莊一（准教授）（H16. 3. 1～講師、H21. 4. 1～現職）
 古瀬 洋（講師）（H14. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 1. 1～現職）
 石井 保夫（特任講師）（H23. 4. 1～現職）
 高山 達也（講師）（H12. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 5. 1～現職）
 大塚 篤史（助教）（H15. 7. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
 永田 仁夫（助教）（H18. 4. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
 杉山 貴之（助教）（H21. 3. 16～医員、H21. 8. 16～診療助教、H23. 4. 1～現職）
 甲斐 文丈（診療助教）（H23. 2. 1～医員、H23. 6. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 23 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	15 編	(4 編)
そのインパクトファクターの合計	26.72	
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	10 編	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	17 編	(16 編)
そのインパクトファクターの合計	1.16	

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	8 編	(6 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	7 編	(5 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(6) その他 (レター等)	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Takayama T*, Sugiyama T, Kai F, Ito T, Furuse H, Mugiya S, Ozono S: Should ipsilateral solitary adrenal involvement in renal cell carcinoma be staged as M1? Jpn J Clin Oncol 41:792-796, 2011.
2. Takaoka N, Takayama T*, Teratani T, Sugiyama T, Mugiya S, Ozono S: Analysis of the regulation of fatty acid binding protein 7 expression in human renal carcinoma cell lines. BMC Mol Biol 12:31, 2011.
3. Takayama T*, Sugiyama T, Kai F, Suzuki T, Nagata M, Imanishi T, Mizuno T, Sato S, Furuse H, Mugiya S, Ozono S: Characteristics of aggressive variants in T1a renal cell carcinoma. J Cancer Res Clin Oncol 137:1653-1659, 2011.
4. Ozono S*, Ueda T, Hoshi S, Yamaguchi A, Maeda H, Fukuyama Y, Takeda K, Ohashi Y, Tsukamoto T, Naito S, Akaza H: The efficacy and safety of degarelix, a gnrh antagonist : A 12-month, multicentre, randomized, maintenance dose-finding phase II study in japanese patients with prostate cancer. Jpn J Clin Oncol
<http://jco.oxfordjournals.org/content/early/2012/03/28/jco.hys035.full.pdf+html?sid=ebfbc3ba-aed6-4bae-88d0-aa53bdd96e93>, 2012.
5. 鈴木孝尚, 大塚篤史, 松本力哉, 甲斐文丈, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 脊椎動静脈奇形による神経因性膀胱の4例. 日本排尿機能学会誌 22:298-301, 2011.
6. 高山達也, 荒川一郎, 柿原浩明, 橋 啓二郎, 大園誠一郎: 前立腺肥大症治療における α 1遮断薬単剤療法に対する α 1遮断薬+デュタステリド併用療法の経済評価. 泌尿器科紀要 58 : 61-69, 2012.

インパクトファクターの小計 [9.39]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Akaza H*, Tsukamoto T, Fujioka T, Tomita Y, Kitamura T, Ozono S, Miki T, Naito S, Zembutsu H, Nakamura Y: Combined immunotherapy with low-dose IL-2 plus IFN-alpha for metastatic renal cell carcinoma: survival benefit for selected patients with lung metastasis and serum sodium level. Jpn J Clin Oncol 41:1023-1030, 2011.
2. Seki M, Ogata M, Kuraoka S, Otsuka A, Ozono S, Takeda M, Masuyama K, Araki I, Yamada S*: Muscarinic Receptor Binding of Imidafenacin in the Human Bladder Mucosa and Detrusor and Parotid Gland. LUTS 3:64-68, 2011.
3. 藤本清秀, 平尾佳彦, 大橋靖雄, 柴田康博, 富士幸蔵, 辻 秀憲, 清水信貴, 宮澤克人, 永田仁夫, 大谷幹伸, 古屋亮兒, 朴 英哲: 酢酸クロルマジノン投与による前立腺肥大症患者の血

- 清PSA値およびテストステロン値の変動-多施設共同前向き臨床研究. 泌尿器科紀要 57:177-183, 2011.
4. Tomita Y*, Uemura H, Fujimoto H, Kanayama HO, Shinohara N, Nakazawa H, Imai K, Umeyama Y, Ozono S, Naito S, Akaza H; Japan Axitinib Phase II Study Group: Key predictive factors of axitinib (AG-013736)-induced proteinuria and efficacy: A phase II study in Japanese patients with cytokine-refractory metastatic renal cell Carcinoma. Eur J Cancer 47:2592-2602, 2011.
 5. Kanie S*, Otsuka A, Yoshikawa S, Morimoto T, Hareyama N, Okazaki S, Kobayashi R, Hasebe K, Nakao K, Hayashi R, Mochizuki H, Matsumoto R, Ozono S: Pharmacological effect of TRK-380, a novel selective human α_3 -adrenoceptor agonist, on mammalian detrusor strips. Urology 79:744e1-e7, 2012.
 6. Nishimura K*, Nonomura N, Hashine K, Kanayama HO, Ozono S, Miura T, Miki T, Kakehi Y, Arai Y, Ogawa O, Fujita R, Nonomura K, Mizokami A, Hoshi S, Akaza H: Prolonged treatment with three-weekly docetaxel plus daily prednisolone for metastatic castration-resistant prostate cancer: a multicenter, phase II, open-label, non-comparative, extension study in Japan. Int J Clin Oncol <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/22350099>, 2012.
 7. Knight J*, Holmes RP, Cramer SD, Takayama T, Salido EC: Hydroxyproline Metabolism in Mouse Models of Primary Hyperoxaluria. Am J Physiol Renal Physiol 302:F688-93, 2011.
 8. Yoshida A, Seki M, Nasrin S, Otsuka A, Ozono S, Takeda M, Masuyama K, Araki I, Ehlert FJ, Yamada S*: Characterization of muscarinic receptors in the human bladder mucosa: Direct quantification of subtypes using 4-DAMP mustard. Urology 78:721.e7-721.e12,2011.
 9. 赤座英之*, 塚本泰司, 鈴木和浩, 並木幹夫, 大園誠一郎, 内藤誠二: 前立腺癌における抗RANKL抗体デノスマブの有用性. 癌と化学療法 39:207-212, 2012.

インパクトファクターの小計 [17.33]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
 1. 加藤大貴, 伊藤寿樹, 永田仁夫, 京野陽子, 田村啓多, 松本力哉, 杉山貴之, 永田仁夫, 大塚篤史, 高山達也, 古瀬洋, 栗田豊, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 鈴木孝尚, 新保 斉. クッシング症候群に特発アルドステロン症を合併した1例. 遠州病院年報 16:72, 2010.
 2. 鈴木孝尚, 新保 斉. 結石性腎盂腎炎による敗血症性ショックを呈した1例. 遠州病院年報 16:81, 2010.
 3. 大園誠一郎: 泌尿器科の病気で悩んでいる若い方, いませんか? -女性の尿失禁と男性更年期障害について-QOL 改善目指し積極的治療を. 健康で若々しく生きる! -浜松医科大学公開講座 2010- :20-27, 2011.
 4. 大園誠一郎: 第40回腎癌研究会記念大会 Japanese kidney cancer symposium 記録集 Session2:小径腎癌の診断・治療; 「Surveillance」. 泌尿器外科 24 特別増刊:731-732, 2011.
 5. 石井保夫, 岩藤和広, 三木克幸, 工藤真司, 村上 徹, 小山一郎, 中島一朗, 渕之上昌平: リツキシマブを使用した ABO 不適合腎移植におけるサイトメガロウイルス感染症の検討. 第44

回日本臨床腎移植学会記録：1-5, 2011.

6. 石井保夫, 永田仁夫, 田村啓多, 加藤大貴, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 杉山貴之, 大塚篤史, 高山達也, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 浜松医科大学で施行した 120 例の献腎移植についての検討. 移植 46(suppl):177, 2011.
7. 高山達也, 杉山貴之, 甲斐文丈, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 進行性腎細胞癌と診断し、分子標的薬で治療後 Necropsy によって悪性リンパ腫と診断された 1 例. 腎癌研究会会報 41:75-76, 2011.
8. 古瀬 洋: SessionIV ; 腎尿管全摘の適応と術式について. 第 5 回静岡尿路悪性腫瘍シンポジウム記録集 12 月:15-18, 2011.
9. 永田仁夫, 野畑俊介, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 杉山貴之, 大塚篤史, 高山達也, 石井保夫, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 前立腺生検に対する年齢別の PSAD の検討. 腎臓予防医誌 20:92-93, 2012.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Terada H, Sugiyama T, Mugiya S, Ozono S : Successful sperm recovery in patients with non-mosaic klinefelter's syndrome: a comparative study. Monduzzi proceedings : 14Th World Congress On Controversies in Obstetrics, Gynecology & Infertility(COGI) : 69-71, 2012.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎: がん診療サポートガイド 膀胱・尿路系がん かかりつけ医から「筋層非浸潤性膀胱がんのリスク分類と CIS を含めた治療方針を教えてください」 治療 93 (4 月増刊号) :1045-1046, 2011.
2. 高山達也, 伊藤寿樹, 大園誠一郎: 尿管動脈瘤の緊急出血に対するステントグラフト. 泌尿器外科 24: 1509-1510, 2011.
3. 杉山貴之, 高山達也, 大園誠一郎: 特集 腎癌取扱い規約; 第 5 版-改訂のポイント- 腎癌取扱い規約第 4 版改訂における臨床的事項の改正点について. 泌尿器外科 24:809-812, 2011.
4. 古瀬 洋, 大園誠一郎, 田中ひとみ: 見ること・することリストで一目瞭然! 術式別泌尿器科の術前・術後ケア : 8. [膀胱の手術] 経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT). 泌尿器ケア 夏期増刊:128-137, 2011.
5. 麦谷荘一: 前立腺癌の診断 前立腺生検 ; 再生検の適応と意義. 日本臨床増刊号 69(増刊 5):305-309, 2011.
6. 大園誠一郎, 古瀬 洋, 高山達也: II 臨床: 前立腺癌の治療 内分泌療法 内分泌療法の実際 ; 抗アンドロゲン剤. 日本臨床増刊号 69(増刊 5):473-476, 2011.
7. 高山達也, 大園誠一郎: 特集「腎臓病 治療の実像を探る」; 腎細胞癌に対する分子標的薬の臨床効果. medical ASAHI 40:30, 2011.
8. 大園誠一郎: 特集「前立腺肥大症診療ガイドライン-その概要と位置づけ-」; アルゴリズム. 泌尿器外科 24:1121-1124, 2011.
9. 永田仁夫, 高山達也, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 特集 カルシウム代謝と尿路結石 ; カルシウム

結石予防のための薬物療法. *Clinical Calcium* 21:102-106, 2011.

10. 高山達也, 大園誠一郎, 古瀬 洋: 連載 前立腺癌; 「PSA の変化に関係する諸因子」 排尿障害プラクティス 19:67-71, 2011.
11. 大園誠一郎: 質問 BOX : 膀胱がんの BCG 注入療法で患者さんが保持時間より前、もしくは後に排尿した時の対応は? 泌尿器ケア 16:53-55, 2011.
12. 大園誠一郎, 馬場 聡: 尿路上皮癌診療 Q&A : PUNLMP とはどのような膀胱癌か. 泌尿器外科 24:52-54, 2011.
13. 大園誠一郎: 泌尿器科の変遷-過去から未来へ- 4.膀胱癌: 筋層非浸潤性膀胱癌の過去から未来へ. 泌尿器外科 25(特別):478-480, 2012.
14. 麦谷荘一: 泌尿器科ベッドサイドマニュアル: II ベッドサイド処置の実際; 012 栄養管理. 臨泌 66 (4) 増刊: 71-75, 2012.
15. 高山達也, 永田仁夫, 大園誠一郎: ? 各種病態にみられる腎障害 代謝性疾患、電解質異常: 高シュウ酸尿症. 別冊 日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.18 腎臓症候群 (第 2 版) 下-その他の腎臓疾患を含めて- :338-341, 2012.
16. 麦谷荘一: X III その他: 特発性腎出血. 別冊 日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.18 腎臓症候群 (第 2 版) 下-その他の腎臓疾患を含めて- : 849-852, 2012.
インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Homma Y*, Gotoh M, Yokoyama O, Masumori N, Kawauchi A, Yamanishi T, Ishizuka O, Seki N, Kamoto T, Nagai A, Ozono S: Outline of JUA clinical guidelines for benign prostatic hyperplasia. *Int J Urol* 18:741-756, 2011.
インパクトファクターの小計 [1.16]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎, 篠原信雄: 第 II 部:悪性疾患の管理と治療の基本原則 (12) 泌尿器科腫瘍. がん治療認定医教育セミナーテキスト -第 5 版-. 日本がん治療認定医機構教育委員会, 東京, pp164-169, 2011.
2. 高山達也, 杉山貴之, 大園誠一郎: 5.腎がんの検査 1)画像診断. 吉田 修(監),大園誠一郎(編). インフォームドコンセントのための図説シリーズ「腎がん」改訂版. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp40-59, 2011.
3. 大園誠一郎: 腎臓・泌尿器系; 42.前立腺肥大症・排尿障害治療薬. 高久史麿(監), 堀 正二, 菅野健太郎, 門脇 孝, 乾 賢一, 林 昌洋(編). 治療薬ハンドブック -薬剤選択と処方のポイント 2012-. じほう, 東京, pp729-743, 2012.
4. 大園誠一郎. 癌診療の現状:膀胱癌. 今日の診療のために ガイドライン外来診療 2012. 日経メディカル開発, 東京, pp547-550, 2012.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 内藤誠二, 大園誠一郎, 大家基嗣, 赤座英之, 五十嵐辰男, 植村天受, 江藤正俊, 笥 善行, 齋藤誠一, 篠原信雄, 杉山貴之, 高山達也, 富田善彦, 松寄 理, 黒田直人, 長嶋洋治, 山下康行, 陣崎雅弘: 日本泌尿器科学会、日本病理学会、日本医学放射線学会(編). 泌尿器科・病理・放射線科 腎癌取扱い規約 第4版. 金原出版(株), 東京, 2011.
2. 本間之夫, 石塚 修, 大園誠一郎, 賀本敏行, 河内明宏, 後藤百万, 関 成人, 永井 敦, 舛森直哉, 山西友典, 横山 修, 鈴木基文: 日本泌尿器科学会(編). 前立腺肥大症診療ガイドライン. リッチヒルメディカル(株), 東京, 2011.
3. Akaza H, Cheng JC, Choi HY, Gupta N, Hinotsu S, Lai MK, Leewansangtong S, Lusaya D, Namiki M, Ozono S, Song JM, Umbas R: NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Asia Consensus Statement -Prostate Cancer-. NCCN'S Official Representative in Asia:EMD Scientific Communication Group, Beijing, China, 2011.
4. Akaza H, Gupta N, Hinotsu S, Kwong P, Lai MK, Ozono S, Rha SY, Song JM, Umbas R: NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Asia Consensus Statement -Kidney Cancer-. NCCN'S Official Representative in Asia:EMD Scientific Communication Group, Beijing, China, 2011.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 鈴木孝尚, 新保 斉, 栗田 豊, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 内分泌療法と放射線療法の併用にて治療を行った前立腺導管癌の1例. 泌尿器科紀要 57:261-264, 2011.
2. 石田夏樹, 高山達也, 石郷岡秀俊, 鈴木孝尚, 松本力哉, 伊藤寿樹, 杉山貴之, 永田仁夫, 大塚篤史, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎: ダブルJ尿管ステント留置下にBCG膀胱内注入後敗血症性ショックをきたした1例. 泌尿器外科 24:1681-1684, 2011.
3. 鈴木孝尚, 古瀬 洋, 松本力哉, 伊藤寿樹, 杉山貴之, 永田仁夫, 大塚篤史, 高山達也, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 尿管膀胱移行部通過障害をきたした増殖性膀胱炎の1例. 泌尿器科紀要 57:573-576, 2011.
4. 鈴木孝尚, 石井保夫, 高山達也, 甲斐文丈, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 山本尚人, 海野直樹: インドシアニンググリーン蛍光造影法で術中に腎血流を評価した自家腎移植の1例. 腎移植・血管外科 23:95-98, 2011.

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

1. Sakakima M, Fujigaki Y, Yasuda H, Togawa A, Fujikura T, Otsuka A, Ozono S, Hishida A: A case with significant proteinuria caused by secreted protein from urothelial carcinoma. Case Reports in Nephrology 2011, Article ID 373480, 4 pages.

インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 京野陽子, 高山達也, 大園誠一郎: 膀胱粘膜下腫瘍が疑われた恥骨結合骨膜病変. 臨泌 65:676-679, 2011.
2. 今泉理枝, 石井保夫, 鈴木めい, 三木克幸, 工藤真司, 村上 徹, 渕之上昌平, 寺岡慧: 腎移植後に発症し治療に難渋した MMF 関連腸炎の 1 例. Enterocolitis associated with mycophenolate mofetil in a renal transplant recipient. 移植 46:166-171, 2011.

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成 23 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成 23 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	4 件	(710 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	3 件	(145 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(65 万円)
(4) 財団助成金	1 件	(50 万円)
(5) 受託研究または共同研究	15 件	(1,032 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	27 件	(1,990 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 大園誠一郎 (代表者) 基板研究 (C)、腎癌微少環境のエネルギー産生における FABP7 の機能解明と発癌予防に向けた探索、平成23年度～平成25年度、平成23年度：190万円 (新規)
2. 大塚 篤史 (代表者) 基盤研究 (C)：ヒト前立腺における 3-アドレナリン受容体の発現とその機能の解明、平成23年度～平成25年度、平成23年度：360万円 (新規)
3. 永田 仁夫 (代表者) 基盤研究 (C)、高尿酸血症に対するアラニングリオキシル酸変換酵素・グリオキシル酸還元酵素の測定、平成22年度～平成24年度、平成23年度：50万円 (継続)
4. 杉山 貴之 (代表者) 若手研究 (B)、尿路上皮癌における S100 ファミリー蛋白発現の意義、平成23年度～平成24年度、平成23年度：110万円 (新規)

(2) 厚生労働科学研究費

1. 大園誠一郎 (分担者) がん臨床研究事業、High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験、平成 22 年～平成 24 年度、平成 23 年度：15 万円 (継続)、代表者：札幌医科大学医学部泌尿器科学教室 塚本泰司

2. 大園誠一郎（分担者）医療技術実用化総合研究事業、癌治療薬の市販後全例調査資料の有効利用によるエビデンス創出に関する研究、平成23年7月～平成24年3月、30万円（新規）、代表者：東京大学先端科学技術研究センター 赤座英之
3. 大園誠一郎（代表者）医療技術実用化総合研究事業（治験推進研究）、治験の実施に関する研究「5-アミノレブリン酸」、平成23年9月～平成24年度、平成23年度：100万円（新規）

（3）他政府機関による研究助成

1. 大園誠一郎（分担者）文部科学省特別経費、光技術を活用した『がん』克服への新たなアプローチによる健康長寿社会の実現「3-5. 光を利用した泌尿器・尿路がんの診断と治療の研究」、平成23年度～平成27年度、平成23年度：65万円（新規）、代表者：浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター 簗島伸生

（4）財団助成金

1. 麦谷 荘一（代表者）狭帯域光観察併用内視鏡を用いた腎盂・尿管癌の診断と治療、内視鏡医学研究振興財団、平成23年度、50万円（継続）

（5）受託研究または共同研究

1. 受託研究 企業(新規), 162万円, MDV3100 第III相試験 PREVAIL: 化学療法未施行の進行性転移性去勢抵抗性前立腺癌において MDV3100 経口投与の有効性及び安全性を検討する国際共同無作為化二重盲検プラセボ対照第III相試験, 高山達也
2. 受託研究 企業(新規), 76万円, 筋層非浸潤性膀胱癌患者に対する EO9 の TURBT 後単回即時注入に関する無作為化プラセボ対照二重盲検試験, 古瀬洋
3. 受託研究 企業(新規), 34万円, ホルモン不応性前立腺癌患者を対象とした cabazitaxel の3週間間隔1時間静脈内点滴投与におけるプレドニゾン併用時の安全性及び薬物動態を検討する、非盲検、用量漸増、第I相臨床試験, 古瀬洋
4. 受託研究 企業(新規), 174万円, KMD-3213 の尿路結石を有する患者を対象とした第II相用量設定試験, 高山達也
5. 受託研究 企業(継続), 19万円, 腎摘除術後の転移性腎細胞癌に対する S-1 / Sorafenib 併用臨床第I/II相試験, 高山達也
6. 受託研究 企業(継続), 36万円, TAK-700 のホルモン療法抵抗性前立腺癌を対象とした第I相反復投与試験, 高山達也
7. 受託研究 企業(継続), 44万円, A randomized, double-blind, placebo-controlled phase III study to evaluate the efficacy and safety of pazopanib as adjuvant therapy for subjects with localized or locally advanced RCC following nephrectomy (腎摘除術後の限局性または局所進行性腎細胞癌患者を対象に術後補助療法としてのパゾパニブの有効性および安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照第III相試験), 高山達也

- び安全性を評価する無作為化，二重盲検，プラセボ対照，第Ⅲ相試験），高山達也
8. 受託研究 企業(継続)，5万円，A Phase 3, Randomized, Double-Blind, Multicenter Trial Comparing Orteronel (TAK 700) Plus Prednisone With Placebo Plus Prednisone in Patients With Chemotherapy Naïve Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer (化学療法施行前の転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした Orteronel(TAK-700)+プレドニゾンとプラセボ+プレドニゾンの無作為割付，二重盲検，多施設共同第Ⅲ相臨床試験)，高山達也
9. 受託研究 企業(継続)，5万円，A Phase 3, Randomized, Double-Blind, Multicenter Trial Comparing Orteronel (TAK 700) Plus Prednisone With Placebo Plus Prednisone in Patients With Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer that has Progressed Following Taxane-based Therapy (化学療法施行中又は施行後に増悪を認めた転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした Orteronel(TAK-700)+プレドニゾンとプラセボ+プレドニゾンの無作為割付，二重盲検，多施設共同第Ⅲ相臨床試験)，高山達也
10. 受託研究 企業(継続)，32万円，MDV3100 第 I/II 相試験-去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした MDV3100 の第 I/II 相非盲検非対照用量漸増試験-，高山達也
11. 受託研究 企業(継続)，27万円，アフィニートール錠 5mg 特定使用成績調査，大園誠一郎
12. 受託研究 企業(継続)，18万円，トーリセル点滴静注液 25mg 特定使用成績調査，大園誠一郎
13. 受託研究 企業(継続)，15万円，リコモジュリン点滴静注用 12800 特定使用成績調査(固形癌に対する調査)，永田仁夫
14. 共同研究 企業(継続)，185万円，ヒト膀胱標本を用いたアドレナリンβ3受容体作動薬の比較検討，大塚篤史
15. 受託研究 文部科学省(新規)，200万円，平成23年度科学技術試験研究委託事業「早期診断マルチバイオマーカー開発」(メタボローム解析による血中・体液中代謝物バイオマーカーの開発における腎がん患者の組織、血清、膀胱がん患者の血清、尿の採取および診断)，高山達也

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	3件	9件
(2) シンポジウム発表数	2件	7件
(3) 学会座長回数	1件	14件
(4) 学会開催回数	0件	2件
(5) 学会役員等回数	5件	45件
(6) 一般演題発表数	9件	

(1) 国際学会等開催・参加

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

1. Mugiya S.: Retrograde endoscopic management of impacted ureteral stones. The Program of the 21st

Annual Meeting of the International Urological Conference, Tainan, Taiwan. Aug 2011.

2. Ozono S, Homma Y.: Session 2: Benign Prostatic disease: Recent topics on BPH in Japan - Clinical Guidelines for BPH. 10th International prostate forum 2011. Kyoto, Japan. Nov 2011.
3. Ozono S, Hinotsu S, Akaza H.: NCCN Asia Consensus Statement- Kidney Cancer. 20th Malaysian Urological Conference - Asia Pacific Society of Uro - Oncology Conference. Kuala Lumpur, Malaysia. Nov 2011.

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Mugiya S.: Advances in ureteroscopic management for upper urinary tract disease: Diagnosis: Narrow Band Imaging (NBI). 8th Annual Meeting of the East Asian Society of Endourology, Kyoto, Japan. Nov 2011.
2. Takayama T.: Current treatment practice of kidney cancer in Japan. Japan-Korea Kidney Cancer Collaborative Group 2012, Seoul, Korea. Mar 2012.

4) 国際学会・会議等での座長

1. Ozono S.: WCE2011 KYOTO 29th World Congress of Endourology and SWL, Kyoto, Japan. Nov 2011.

5) 一般発表

口頭発表

1. Mugiya S, Nagata M, Ozono S.: Experimental study on the pathogenesis of chronic unilateral hematuria in a porcine model: Focusing on the effect of an elevated blood pressure in the renal vein. AUA 2011 Annual Meeting, May 2011. Washington, D.C. USA.
2. Mugiya S, Nagata M, Suzuki T, Sugiyama T, Otsuka A, Takayama T, Furuse H, Ozono S.: Routine postoperative imaging is important after ureteroscopic management of impacted ureteral stones. AUA 2011 Annual Meeting, May 2011. Washington, D.C. USA.
3. Takayama T, Sugiyama T, Kai F, Tan C, Kato T, Tamura K, Suzuki T, Nagata M, Otsuka A, Ishii Y, Furuse H, Mugiya S, Ozono S.: Clinical experience of von Hippel-Lindau disease-associated renal cell carcinoma. 28th Korea-Japan Urological Congress, Sep 2011, Seoul, Korea.

ポスター発表

1. Furuse H, Suzuki T, Kai F, Sugiyama T, Nagata M, Otsuka A, Takayama T, Hirano Y, Kurita Y, Mugiya S, Ozono S.: Analysis of lymphadenectomy during nephroureterectomy for upper urinary tract urothelial carcinoma. 2011 SIU World Meeting, Oct 2011, Berlin, Germany.
2. Ishii Y, Examination of cytomegalovirus infectious disease in ABO incompatible kidney transplant using Rituximab. American Transplant Congress, May 2011, Philadelphia, USA.

3. Ishii Y. Impact of rituximab induction therapy on cmv infectious disease in abo incompatible kidney transplantation. 15th Congress of the European Society for Organ Transplantation, Sep 2011, Glasgow, United Kingdom.
4. Furuse H., Mugiya S., Ito T, Kai F., Nagata M., Sugiyama T., Otsuka A., Takayama T., Kurita Y, Ozono S.: Clinical outcome of 4 patients with extra-adrenal paraganglioma removed by laparoscopic surgery. 29th World Congress of Endourology and SWL (WCE2011), Nov 2011, Kyoto, Japan.
5. Nagata M., Mugiya S., Kato T., Suzuki T., Kai F., Sugiyama T., Otsuka A., Takayama T., Furuse H., Ozono S.: Ureteroscopic Surveillance for Urothelial Carcinoma of the Upper Urinary Tract Using Flexible Uretero-Reno Videoscope with NBI, 29th World Congress of Endourology and SWL(WCE2011), Dec 2011, Kyoto, Japan.
6. Ozono S., Takayama T., Fujisawa M, Miyake H, Hashine K, Ninomiya I, Tatsugami K, Sakai H, Ohba K, Akaza H, Tsukamoto T, Naito S.: A phase I study of S-1 in combination with sorafenib in metastatic renal cell carcinoma (mRCC). 2012 Genitourinary Cancers Symposium. Feb 2012, San Francisco, USA.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 第 28 回浜松カンファレンス、2011 年 7 月、浜松市
2. 第 21 回日本性機能学会中部総会（会長）、2011 年 8 月、浜松市

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 麦谷 荘一、有馬公伸：スキルアップ企画 8；「専門医のための画像診断」座長のメッセージ。第 99 回日本泌尿器科学会総会、2011 年 4 月、名古屋市
2. 古瀬 洋、麦谷 荘一、大園 誠一郎：スキルアップ企画 8-1：腎癌との鑑別を要した腎腫瘍の画像診断。第 99 回日本泌尿器科学会総会、2011 年 4 月、名古屋市
3. 高山 達也：サテライトセミナー6；腎癌取扱い規約【第 4 版】-泌尿器科・病理・放射線科医が語る改訂のポイント- 第 99 回日本泌尿器科学会総会、2011 年 4 月、名古屋市
4. 高山 達也、京野陽子、松本力哉、大園 誠一郎：スキルアップ企画 9-2；1.自然軽快した突発性左精巣静脈血栓症の 1 例、2.陰茎の美容形成術後に生じた陰茎 Buck 筋膜下膿瘍の 1 例。第 99 回日本泌尿器科学会総会、2011 年 4 月、名古屋市
5. 大園 誠一郎：泌尿器癌（腎、尿路、前立腺）。第 9 回日本臨床腫瘍学会学術集会。2011 年 7 月、横浜市
6. 大園 誠一郎：EBM の観点から今後の BPH 治療を再考する-新「前立腺肥大症診療ガイドライン」より-。18 回日本排尿機能学会。2011 年 9 月、福井市
7. 大園 誠一郎：泌尿器科腫瘍。2011 年度 がん治療認定医 教育セミナー・認定医試験。2011 年 11 月、千葉市
8. 麦谷 荘一、永田 仁夫、大園 誠一郎、新保 齊、栗田 豊：ディベート；20mm 前後の腎結石に対する破碎治療戦略：20mm 前後の腎結石に対する TUL。第 25 回日本泌尿器内視鏡学会

総会、2011年11月、京都市

9. 麦谷 荘一：ランチョンセミナー；上部尿路腫瘍に対する経尿道的内視鏡治療 - 内視鏡下生検の役割 - .第25回日本泌尿器内視鏡学会総会、2011年11月、京都市

3) シンポジウム発表

1. 大園 誠一郎、本間之夫：前立腺肥大症診療ガイドライン-作成の経緯と今後の展望-. 第99回日本泌尿器科学会総会、2011年4月、名古屋市
2. 大園 誠一郎：在宅での排尿ケア. 第24回日本老年泌尿器科学会、2011年5月、名古屋市
3. Ozono S, Hinotsu S, Namiki M, Akaza H.：Asian Session2；NCCN Asia Consensus Statement：Kidney cancer and Prostate cancer. 第49回日本癌治療学会学術集会、2011年10月、名古屋市
4. 麦谷 荘一、大園 誠一郎：「尿路結石診療ガイドライン」： - 診療・治療の Update - . 第61回日本泌尿器科学会中部総会、2011年11月、京都市
5. 古瀬 洋、大園 誠一郎：「膀胱癌診療ガイドライン」：筋層非浸潤性膀胱癌の治療(CISを除く)、第61回日本泌尿器科学会中部総会、2011年11月、京都市
6. 高山 達也、大園 誠一郎：腎癌分子標的治療薬の現状：シークエンシャルとプレサージカル：mTOR 阻害剤の使用経験. 第61回日本泌尿器科学会中部総会、2011年11月、京都市
7. 麦谷 荘一：「泌尿器科における画像診断」 腎腫瘍の画像診断. 第31回日本画像医学会、2012年2月、東京都

4) 座長をした学会名

大園 誠一郎：第99回日本泌尿器科学会総会 サテライトセミナー6、2011年4月、名古屋市
大園 誠一郎：第99回日本泌尿器科学会総会 シンポジウム7、2011年4月、名古屋市
大園 誠一郎：第24回日本老年泌尿器科学会、2011年5月、名古屋市
大園 誠一郎：第18回日本排尿機能学会、2011年9月、福井市
大園 誠一郎：第76回日本泌尿器科学会東部総会、2011年10月、横浜市
大園 誠一郎：第70回日本癌学会学術総会、2011年11月、名古屋市
大園 誠一郎：第49回日本癌治療学会学術集会、2011年10月、名古屋市
大園 誠一郎：第61回日本泌尿器科学会中部総会、2011年11月、京都市
大園 誠一郎：第254回日本泌尿器科学会東海地方会、2011年12月、名古屋市
麦谷 荘一：第99回日本泌尿器科学会総会、2011年4月、名古屋市
麦谷 荘一：第61回日本泌尿器科学会中部総会、2011年11月、京都市
高山 達也：第44回日本臨床腎移植学会、2011年1月、宝塚市
高山 達也：第61回日本泌尿器科学会中部総会、2011年11月、京都市
高山 達也：第25回日本泌尿器内視鏡学会、2011年11月、京都市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

大園 誠一郎：日本泌尿器科学会・評議員

大園 誠一郎：日本泌尿器科学会・学術委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・倫理委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・専門医制度審議会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・腎癌取扱い規約改訂委員会委員長

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・腎癌診療ガイドライン改訂委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・前立腺肥大症診療ガイドライン作成委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・前立腺癌診療ガイドライン作成委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・中部連合地方会運営委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・東海地方会運営委員

大園誠一郎：日本排尿機能学会・理事

大園誠一郎：日本癌治療学会・理事・関連学会連絡委員会委員長

大園誠一郎：日本癌治療学会・がん診療ガイドライン委員会尿路上皮がん・腎がん部門協力委員

大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会・評議員

大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会・世界泌尿器内視鏡学会組織委員会委員

大園誠一郎：日本老年泌尿器科学会・評議員

大園誠一郎：日本透析医学会・評議員

大園誠一郎：日本腎臓学会学術・評議員

大園誠一郎：日本内分泌外科学会・評議員

大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会・評議員

大園誠一郎：日本アンドロロジー学会・評議員

大園誠一郎：日本女性骨盤底医学会・理事

大園誠一郎：日本 Men's Health 医学会・評議員

大園誠一郎：腎癌研究会・世話人・監事

大園誠一郎：日本腎臓器疾患予防医学研究会・世話人

大園誠一郎：BCG 注入療法研究会・世話人

大園誠一郎：American Urological Association(AUA) International Member

大園誠一郎：American Society of Clinical Oncology(ASCO) Member

大園誠一郎：NCCN Asia Consensus Statement Panel Member

大園誠一郎：Société Internationale d'Urologie(SIU) Member

大園誠一郎：International Continence Society(ICS) Member

麦谷 荘一：日本泌尿器内視鏡学会・評議員

麦谷 荘一：日本泌尿器内視鏡学会・査読委員

麦谷 荘一：日本泌尿器内視鏡学会・Web ビデオ検討委員会委員

麦谷 荘一：日本泌尿器内視鏡学会・教育委員会委員

麦谷 荘一：日本泌尿器内視鏡学会・世界泌尿器内視鏡学会組織委員会委員

麦谷 荘一：日本腎臓学会・学術評議員

麦谷 荘一：日本腎臓学会・腎臓専門医試験症例評価委員

麦谷 荘一：日本超音波医学会・超音波検査士認定試験委員会試験委員

麦谷 荘一：日本超音波医学会・超音波専門医認定試験委員会試験委員

麦谷 莊一：日本超音波医学会・奨励賞選考委員会審議委員
 麦谷 莊一：日本内分泌外科学会・評議員
 麦谷 莊一：日本泌尿器科学会・尿路結石症診療ガイドライン作成委員会委員
 麦谷 莊一：日本泌尿器科学会・腎癌診療ガイドライン作成委員会協力委員
 古瀬 洋：日本泌尿器科学会・前立腺がん診療ガイドライン改訂班班員
 高山 達也：日本腎臓学会・学術評議員
 高山 達也：泌尿器科分子細胞研究会・評議員
 高山 達也：日本泌尿器科学会・東海地方会運営委員
 高山 達也：日本泌尿器科学会・腎癌取扱い規約作成委員会（第4版）委員
 高山 達也：日本泌尿器科学会・前立腺がん診療ガイドライン改訂班班員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	2件	1件

（1）国内の英文雑誌の編集

大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate editor
 PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有
 高山 達也：International Cancer Conference Journal, Editorial Board
 PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有

（2）外国の学術雑誌の編集

高山 達也：The International Scholarly Research Network (ISRN) Urology, Editorial Board
 PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無

（3）国内外の英文雑誌のレフリー

大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology 2回(Japan)
 大園誠一郎：International Journal of Urology 1回(Japan)
 大園誠一郎：Cancer Science 1回(Japan)
 麦谷 莊一：Urology 1回(USA)
 麦谷 莊一：International Journal of Urology 4回(Japan)
 麦谷 莊一：PLoS ONE 1回(USA)
 古瀬 洋：Journal of Cytology & Histology 1回(USA)
 古瀬 洋：Japanese Journal of Clinical Oncology 1回(Japan)
 古瀬 洋：International Journal of Urology 1回(Japan)
 高山 達也：The International Scholarly Research Network (ISRN) Urology 3回(Egypt)
 高山 達也：Clinical Experimental Nephrology Case Reports 1回(Japan)
 高山 達也：International journal of Urology 2回(Japan)
 高山 達也：Clinical Experimental Nephrology 1回(Japan)

- 高山 達也 : Cancer Science 2 回 (Japan)
- 高山 達也 : Japanese Journal of Clinical Oncology 1 回 (Japan)
- 高山 達也 : International Cancer Conference Journal 1 回 (Japan)
- 高山 達也 : Clinical Medicine Insights : Oncology 1 回 (New Zealand)
- 大塚 篤史 : International journal of Urology 2 回 (Japan)
- 大塚 篤史 : The Aging Male 1 回 (UK)
- 大塚 篤史 : Clinical Pharmacology: Advances and Applications 1 回 (USA)

9 共同研究の実施状況

	平成 23 年度
(1) 国際共同研究	1 件
(2) 国内共同研究	8 件
(3) 学内共同研究	1 件

(1) 国際共同研究

1. 早期前立腺がんに対する PSA 監視療法 : 国際共同比較研究 (PRIAS-JAPAN), 日本 (香川大学 筧 善行)・欧州 8 カ国, 平成 22 年 1 月 1 日～26 年 12 月 31 日

(2) 国内共同研究

1. High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療 経過観察のランダム化第 III 相試験、Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍研究グループ、平成 22 年 4 月～
2. 腎細胞患者を対象とした天然型インターフェロン α + ソラフェニブ併用療法の有効性および安全性の検討を目的とした多施設共同研究第 II 相試験、JRCTG 研究会、平成 21 年 8 月～
3. 根治切除不能または転移性の腎細胞癌患者に対する 1st line TKI 療法不応後のエベロリムスの有効性および安全性の検討、J-ACTOR、平成 23 年 4 月～平成 27 年 3 月
4. 限局性前立腺癌に対するホルモン療法の有効性に関する観察研究、J-cap 研究会、平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月
5. 前立腺癌患者における背景因子、初期治療に関する実態調査 (初回治療調査)、J-cap 研究会、平成 23 年 10 月～
6. 小径 (4cm 以下) 腎癌の予後規定因子に関する検討、腎癌研究会、平成 22 年 12 月～平成 25 年 11 月
7. 乳頭状腎癌および嫌色素性腎細胞癌の有転移例に対する薬物治療の効果—多施設共同研究、腎癌研究会、平成 22 年 12 月～平成 25 年 11 月
8. 根治手術が実施された上部尿路癌におけるリンパ節郭清術の意義と術後の膀胱再発に関する調査研究、Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍研究グループ、～2015 年 1 月

(3) 学内共同研究

1. 生活習慣と泌尿器科疾患の遺伝環境表現型相関、病理学第一、平成 21 年 6 月～26 年 5 月

10 産学共同研究

	平成 23 年度
産学共同研究	1 件

1. 大塚篤史：企業、ヒト膀胱標本を用いたアドレナリン $\beta 3$ 受容体作動薬の比較検討、
過活動膀胱治療薬の新規化合物の開発

15 新聞、雑誌等による報道

1. 高山達也：医学講座；尿路結石形成における蔞酸代謝の重要性. ラジオ NIKKEI、2011 年 6 月 21 日、ラジオ
2. 大園誠一郎：前立腺肥大症診療 GL 改訂 -新しい薬剤や手術法の登場で治療が変わる-. 日経メディカル:36-38、2011 年 9 月